

次世代エネルギープラントの 実現を目指す

プロジェクトエンジニア

忍 翔太郎 OSHI SHOTARO

機械工学専攻
2020年入社

チームワークを大切に プロジェクトを成功へと導く

現在は、持続可能な航空燃料・SAFを製造するプラントの設計に携わっています。その中で、私が担当しているのは、原料を載せた船が接岸する桟橋からプラントへと繋がる配管です。配管に流す液体の粘性などによって最適な配管の大きさはある程度決まっているため、今は現場を調査し、既設の設備に干渉しない配管ルートを設計しているところ。パイプラックを用いて設備の上に配管を通す方法に加え、地下に配管を通す方法も先輩から教わり、毎日のように新たな発見や学びがあります。計画通りに工程が進行すればゆくゆくは現場で施工管理を手掛けることになるので、社内の各設計エンジニアや協力会社の作業員とのチームワークを大切に、このプロジェクトを成功へと導きたいですね。

My Vision



叶えたい未来

全体の工程を俯瞰する視点を養い、一歩先を読んで動きたい

プロジェクトエンジニアには、お客様と各エンジニアとの間に立って橋渡しをする役割もあります。技術的な専門知識をしっかりと学び、お客様の要望を噛み砕いて各エンジニアに伝えられるようになりたいです。これができるようになれば、現場の作業員への指示もよりの確になるはず。進行中のプロジェクトでは、年齢の近い先輩がPM*を務めています。全体の工程を俯瞰する視点を養い、一歩先を読んだ動きで先輩を助けられるようになりたいですね。

*プロジェクトマネージャー

計装は未知の分野。 だから面白い

計装エンジニア

寺田 知美 TERADA TOMOMI

生命化学・物理化学専攻
2019年入社

お客様の要求を理解し、 最善の着地点を提案する

主に既存のプラントに納入されるコンプレッサースキッドの計装設計と、付帯するケーブルやジャンクションボックスの調達を行っています。コンプレッサースキッドは5m～10m四方ほどの大きさ。コンプレッサーを中心にして周囲に配管があり、内部に計装品が詰まっています。当社にはこのコンプレッサースキッドの標準仕様がありますが、お客様は既存の設備に合わせた仕様を希望するケースが多いんです。規格が標準から外れると、温度計や圧力計、流量計といった計装品をオーダーメイドする必要があり、納期が年単位で延びるリスクも。標準の規格品を用いてお客様の要求をクリアする方法がないか知恵を絞り、最善の着地点を提案することも私たちの役割です。

My Vision



どんな仕事も人対人。 信頼関係が重要だと学んだ

化学を学んでいた私にとって、計装は未知の分野。設計には欠かせないCADの操作方法も、一から先輩に教えてもらいました。スキルの習熟度に合わせた業務を任せてもらえたからこそ、わからない専門用語があれば都度調べて覚え、一歩ずつ着実に成長できたのだと思います。また、コンプレッサースキッドの工事期間はおよそ1週間と非常にタイトです。メーカー都合で資材の搬入が遅れた場合、お客様と工期の調整をしなければなりません。ここで重要になるのが普段のコミュニケーション。設計段階から緊密に連携が取れていれば、自ずと工期の交渉がしやすくなります。どんな仕事も人対人の信頼関係が最も重要なのだと理解できたとき、社会人としての成長を実感しました。

Profile



大学1～3年で生命化学、4年で物理化学を専攻。レーザー光で物質の特性を調べる研究に取り組む。プラント建設現場を見学し、スケールの大きなものづくりに惹かれるように。選考を受けた会社の中で最も自分に合う社風だと確信したのが千代田エクスワンエンジニアリングだった。

叶えたい未来

コンプレッサースキッド工事に留まらず、色々な現場を経験したい

現場での経験が浅く、不測の事態に自力で対処しきれないのが課題。資材不足や施工ミスが起きないようにするのが第一ですが、そういったトラブル時における先輩の対応をしっかり見て、有効なノウハウとして蓄積していきたいと考えています。そしてゆくゆくは、自分自身で最適な対処方法を生み出せるようになりたいです。今後はコンプレッサースキッド工事に留まらず、色々な現場を経験する機会が増えたら嬉しいですね。